

編集・発行／株式会社 エイ・シー・エム 企画部 〒130-0026 東京都墨田区両国4-8-10 TEL.03-3634-7373

2010年6月発行

今回は、医学博士バトマンゲリジ著「病気を治す飲水法」(中央アート出版)のアドバイスから「飲水の重要性について」を、引用・紹介していきます。

### ◆ 医学の誤謬のもとを探る

人体は、25%が個体(溶質)、75%が水(溶媒)で、できている。

脳組織は、85%が水である。

人体機能の研究が始まった頃に、すでに広い化学知識が定着していたので、化学で得られていた理解が人体にも適用された。その結果、溶質の成分が人体のあらゆる機能を制御する因子であり、水は溶媒と輸送手段に過ぎないと考えられている。人体は各種の個体と「梱包材料」に過ぎない水で充満した、巨大な試験管のように思われているのが現状だ。

科学では、溶質が体のすべての働きを制御していると考えられている。飲水の制御もここに含まれ、水は十分制御されている。水は、無償で利用できるので体は、それを欠くことがないと考えられている。このような誤った仮定のもとで、病を起こす特定の原因物質の発見に焦点が置かれ、病の問題を解決せずに予想される分子の変動ばかりが調べられてきた。

したがって、どんな治療薬も緩和剤に過ぎず(菌の感染に使う抗生物質は別として)、治癒させるものではないのである。

高血圧は、治癒しない。一生涯「治療」を要するからである。

喘息も治癒しない。患者は吸入器を手放せなくなるからである。

胃潰瘍も治癒しない。制酸剤を常に手元に置かなければならぬ。

アレルギーも治癒しない。患者は薬に依存し続ける。

関節炎も治癒しない。ついには手足が不自由になるだけだ。

このように水の役割の前提を誤ることから、「喉の渴く」感覚がなければ、水が十分にあるのでうまく調節されていると思い込んでいる。これは馬鹿げた混乱を生む医学の考え方である。医学がどんなに研究費をかけても発病の恒久的予防法を見いだせずにいる理由がそこにある。私は、三千人を超す胃潰瘍の患者を水だけで治療した時の臨床観察を印刷物にした。この古典的病が水そのものに反応することを医療世界で初めて発見した。同じ環境の下で他の病状も水そのものに反応するように思えた。さらに研究を拡大し、体が精巧な渴きの信号を、いろいろな形で表現するという臨床観察を立証するにいたった。

私の臨床経験と文献研究は、病を克服しようとすれば、医学を支配するパラダイムを変えなければならないことを示している。臨床医療が、誤った仮定と不正確な前提に立っているのは明らかである。そうでなければ、水の代謝障害の信号系が、これほど長きにわたり無視されるはずはない。

現時点では、喉の渴きが体の水不足の唯一受け止められている信号である。しかし、この信号は極度の水不足が発する最後のサインであり、喉の渴きを示さない段階で、すでに慢性水不足が起きているのである。ビタミンC欠乏から起きる壊血症、ビタミンB不足から起きる きっかけ、ビタミンD欠乏から起きる くる病、鉄不足が起こす貧血症等、どんな欠乏障害とも同じく、その症状をもっとも有効に治療する方法は、欠乏した成分を補うことである。慢性水不足の合併症が認められれば、その予防と初期療法は、きわめて単純である。

この研究は、私が1987年の国際癌学会に講演者として招かれ、パラダイム転換の情報を提供する前から医師仲間に評価されていた。マンハッタン・カレッジ・生物学助教授のベリー・ケンドラー博士も、慢性水不足を病の発生源とする科学的見解の正しさを確認している。大部分の変形性疾患の原因が慢性水不足にあることを説明するために、私は多くの文献を参照したが、彼はそれも調べている。バトマンゲリジ博士は、「病気を治す飲水法」において、次のように述べている。

#### ◆ 新しいパラダイム

「溶媒(水)が、そこに含まれる溶質(個体)の作



用を含む、すべての体の働きを制御している」…これが私たちを予防医学の従事者へ変えしむる、人体に関する新しい科学的真理である。体の水代謝が乱れれば、水の供給と制御にからむ特殊な機能も乱ってきて、いろいろな信号が出てくる。

体のどんな動きも、十分な水の量に調整され、関連づけられている。

水を飲むことが、適切な水の量ばかりか、そこに含まれる分子が生命維持器官に届く、唯一の方法である。そのようにすれば、体に利用できる物質を生産する器官は、脳が決める割り当てに応じて生産し、解放するだけですむ。不足している部分に届いた水は、重要な身体的、化学的な制御機能を発揮する。この見方によれば、何よりも水を飲んで供給することが、大切である。

制御系である神経伝達系(ヒスタミンとその従属物質)は、体に必要な水が巡っている限り活発に働く。薬を使ってその働きをブロックしてはならない。その目的を理解し、飲む水の量を増やすことによって目的を満たすべきなのである。

私は、1989年にモンテカルロで開かれた「炎症、鎮痛免疫調節」をテーマとする国際会議で、各国から集まった科学者たちに同じ話をした。あたらしいパラダイムは、「第四の時間の次元」を科学的研究に繋げていく。一定期間水不足が続くことからどんな有害な作用が起きるかを理解させる。

それによって、遺伝子障害とみられているものを含め、後に病と化す生理学的出来事も予測できるようになる。

このような行き当たりばったりの対症療法を、科学的に正確な医療に変質させ、予防的判断を可能にする。健康体を作り上げ、それを推進する個人と社会の医療費を削減する。

体内各所の水不足が、今、病に分類されている数々の症状、信号、合併症となって現れるので、人は水が自然な解決策になるとは考えない。

水が病を治すなどあり得ないと考え、水不足からくる多くの異なる病を予防し治療する、新しい可能性に心を閉ざす。

体内的水不足から起きてくる症状の唯一の薬が水以外の何物でもないことを考えもしない。

以上 全米で100万部突破のベストセラー「病気を治す飲水法」(F・バトマンゲリジ著、中央アート出版)32ページ～41ページより引用。



病気を治す飲水法  
(中央アート出版刊)

#### F・バトマンゲリジ医学博士について

1931年イラン生まれ。ロンドン大学に学びセントメリー病院医学校で医師免許を得る。帰国後イラン革命に巻き込まれて、獄中で患者の診療に当たる。薬が使えない中で、胃潰瘍に苦しむ囚人に水をコップ二杯飲ませただけで癒したのをきっかけに、水だけで3000人の患者を治療し続けた。

革命後、アメリカに移住して水の治療効果を医学的に調べる頭脳集団「シンプル・イン・メディシン財団」を設立、医学と生理学と臨床面から水の薬効を解明し、水に秘められた治療のメカニズムを体化した。

この新しい医学上のパラダイムシフトを世界に伝えるために、グローバルヘルス・ソリューションズを設立、著書とビデオによる普及に努める。

著書はアメリカから世界に大反響を巻き起こし、100万部を突破、代替療法の世界に飲水療法の大ブームを巻き起こした。2005年に78歳で死去。

#### ACMπウォーターとは

元名古屋大学農学博士、山下昭治先生の30年にわたる生体システムの研究によって生まれたのがπウォーターです。πウォーターは、見掛けは普通の水と同じですが、成分的にも、物性的にも普通の水とは異なり、多くの違いをもっています。成分的には各種ミネラルが、種類・量ともバランスよく含まれ、しかも吸収しやすい形となっています。物的には電気伝導率が低く、浸透性が高いという理想的な性質を持っています。

最近は、水の品質を比べる際に「クラスター」の大小が良く論じられます。これまで、水に含まれる成分と、含まれてはならない成分とが主に焦点となっていましたが、最近では、これにクラスターが加わったことになります。

水は、水素分子(H)2個と酸素分子(O)1個で1つの水分子となります。

しかし実際の水は、1個の水分子だけで存在するわけではありません。少なくとも5個～12個の単位でまとめて存在しています。

この集団のことをクラスターと言います。このクラスターが小さいほど浸透性があり、からだのすみすみにまで行き渡り、健康に良い水といわれています。

πウォーターは普通の水に比べてこのクラスターが非常に小さいのも、大きな特長になっています。ACMπウォーターは、26年前から現在に至るまで、πウォーターの発見者である山下昭治先生に指導をいただき創られている日本で唯一のπウォーターなのです。



## 丸紅(株)がACM植物工場用 πウォーター活水器の販売を担当



丸紅(株)の地下にある植物工場

日照不足などの天候不順を受け、足元では野菜価格の値上がりが顕著となっている。そこで注目されるのが、天候に左右されないで野菜などが生産できる植物工場だ。丸紅株式会社では、大阪市中央区の大阪支社ビルの地下に、植物工場のショールームを開設し、昨年2月から企業向けに

公開している。水耕栽培が主流の植物工場と異なり、特殊な土壌を使用することで根菜類も栽培できるのが特徴。

丸紅では、植物工場用として栽培設備を積極的に販売していく。空き工場や倉庫などを利用し、季節や天候に左右されず安定的な収穫を見込めるとして、5年後には約40億円の売り上げを見込んでいる。

ショールームは約150平方メートルで、蛍光灯や発光ダイオード(LED)を組み込んだスチール製の棚に、水ゴケに粘土を付着させて微生物剤を混入した特殊な土壌を入れたパレットを並べ、レタスやダイコン、ハーブなど約10種類の植物を栽培している。

このショールームで栽培される野菜への給水には、ACM社の植物工場用πウォーター活水器が使用されており、給水や温度、光量を植物の生育に最適な状態に保つことで、生育期間を3~7割程度短縮できるほか、味や栄養価を高めることもできる。栽培設備の販売価格は330平方メートル当たり約8千万円。京野菜や生薬類など単価の高い作物も栽培できることから、「水耕栽培の植物工場に比べて採算が取りやすい」(丸紅担当者)としており、国内の企業のほか、砂漠の多い中近東など海外向けにも販売する計画だ。

ACM社の植物工場用活水器<VWシリーズ>には、VW-600型、VW-800型、VW-1000型の3種類が用意されており、丸紅のショールーム内でも、「植物工場用活水器の製品展示とパンフレットを置き、販売を積極的に展開していくと担当の藤原澄久氏(大阪機能化学品課)は、話している。



植物工場用活水器  
「VW-1000」



## 第1回「ACMπウォーターセミナー」盛況裡に終了

ACM社では、4月28日(水曜日)墨田区両国の大丸KFCホールにおいて、第1回の「ACMπウォーターセミナー」を開催しました。当日は、ゴールデンウイークスタートの前日という忙しい時期にも関わらず、約40名の代理店、特約店の方々の参加をいただき、滞りなく終了致しました。今回の「ACMπウォーターセミナー」は、第一部が、ACM社の沿革と今後ACM社が目指す方向についての概要を映像スライドで、紹介しました。第二部は、出席者の方々の期待が高いACM社 木島社長による「ACMπウォーターとは何か」についての最新の説明が、スライドを使い1時間半に渡り行われました。説明終了後、熱心な質疑応答と当日特別に出席いただきました宇都宮大学・雑草科学研究センターの倉持仁志先生のスピーチもあり、初めての「ACMπウォーターセミナー」は、盛況裡の内に終了致しました。なお当日は、セミナー休憩時間中にACM社のπウォーター浄水器を使用し、大人気の焼き立てパンを販売している千葉県船橋市の「ピーターパン・石窯パン工房店」の人気カレーパンの試食コーナーも設けられ、女性参加者の方々から“とっても美味しいパンね!”といった熱い声も聞かれました。今後ACM社では、このようなセミナーを1年に一回は、開催しACMπウォーター関連商品の販売拡大につなげていきたいと考えています。

## 平成22年「熊本国税局酒類鑑評会」で、「大吟醸 千徳」が、優等賞受賞

平成22年の「熊本国税局酒類鑑評会」において、千徳酒造(株)の「大吟醸千徳」が、優等賞を受賞しました。

今回の鑑評会には、熊本国税局管内の酒造メーカー24社から、大吟醸117点の出品があり、入賞点数は20点で、そのうち千徳酒造の大吟醸5点が入賞した。

千徳酒造では、2003年から醸造の全工程に循環式酒造用の「ACMπウォーターシステム」を導入し、これまでにも全国新酒鑑評会で4年連続入賞をはじめ、新商品の売り上げも好調に推移している。

<大吟醸 千徳 特別限定品>

山田錦を40%以下になるまで磨き、じっくりと低温で仕込みました。吟醸酒がいだくフルーティーで華やかなすっきりとした淡麗な味をお愉しみいただける辛口の酒です。袋でやさしく握り、原酒のまま瓶詰めしました。



720ml 3,200円(税込)

■千徳酒造株式会社 住所：宮崎県延岡市大瀬町2-1-8  
TEL：0982-32-2024

使用浄水器は、ライクリーン「AW-500」

### 石窯パン工房ピーターパン

最寄り駅：東葉高速線東海神駅 徒歩5分

東武野田線新船橋駅 徒歩7分

営業時間：午前7時～午後8時

おすすめパン：

- ☆カレーパン(136円)
- ☆南蛮チキンコッペパン(315円)
- ☆レトロメロンパン(126円)
- ☆じゃがチーズフランス ハーフ(136円)
- ☆クリームパン(136円)
- ☆おもっち(84円)など多数。

住所：千葉県船橋市海神3-24-14  
TEL：047-410-1023

### 浄水器カートリッジ交換の問い合わせ



浄水器のカートリッジを  
交換したいのですが、  
どこへ問い合わせをした  
らよいのでしょうか??



製品をご購入された代理店へ  
お問い合わせください。  
\* 万が一、購入された代理店が  
不明または連絡がつかない場合  
には、以下へご連絡をお願いします。  
製造元:株式会社エイ・シー・エム  
フリーダイヤル:0120-369-202



カートリッジを交換して、  
おいしい水を飲みましょう!!

### 浄水器カートリッジ交換お問い合わせ代理店